

## 令和6年度（百合丘高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
① 法令順守意識の向上	教育公務員としての責任を自覚し、法令順守意識の向上を図り、公務外非行や交通事故を起こさない。	・不祥事防止啓発資料等を用いて不祥事防止研修会を7回実施し、法令順守の徹底を図った。 ・より身近に自分事としてとらえられるよう、テーマに応じてグループに研修会の講師を割り当て、職員がより身近に自分事としてとらえ意識向上に努めた。
② 職場ハラスメントの防止	職員の人権を尊重し、ハラスマント行為の発生を未然に防止する。	・生活支援グループの主催により職員人権研修会を2回開催し、人権意識向上を図ることができた。 ・今後も啓発資料等や外部講師研修会等によりさらに意識啓発、注意喚起を行っていく。
③ 生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権を尊重し、ハラスマント行為の発生を未然に防止する。	・生徒を傷つけ、生徒・保護者・県民の信頼を失う校であることを深く意識し、研修会の実施とともに、教科準備室の整理、面談の複数対応やSNS使用禁止を徹底した。 ・今後も研修を継続し、さらなる意識向上・注意喚起に努める。
④ 体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重して指導にあたり、体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	・職員同士の情報共有を密に行うとともに管理職への報告を徹底し、適切な指導を行った。 ・新たに構築した教育相談体制の適切な運用を図り、生徒一人ひとりの課題等を把握することにより個々の生徒の状況に合わせた指導を行った。
⑤ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱に係る事故防止	実効性のある点検体制を再構築し、定めたマニュアルに基づき確実に業務を行う。	・入学者選抜については、昨年度から導入された出願システムの運用や、準備、当日、判定会議、合格発表に至るすべての業務について、昨年度の反省点を委員全員で十分に検討してマニュアルを見直し、全職員で丁寧に作業を進め、業務を遂行することができた。 ・成績処理について、点検手順等を見直し、より確実に点検できるような作業工程を設定し、事故防止に努めた。 ・進路関係書類の作成についてはマニュアルに基づき、確実に業務を進めることができた。

### ○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

不祥事防止研修の定期的な開催と、各グループが関係するテーマを担当して不祥事防止研修にかかわることで、職員がより身近に自分事としてとらえ、不祥事を絶対に起こさないという意識の醸成が図られている。

不祥事防止には、すべての職員が、公務員としての自覚と責任と誇りを持ち、多様な生徒の状況を理解し受け止め、人権意識を向上させることが不可欠であり、次年度以降も、多くの研修の機会を設けるとともに、より一層職員間の情報共有や相互理解を深め、生徒及び保護者、地域の方から信頼される、事故のない安全・安心な学校づくりに向け、組織的づくりを進める。